

作成日		発行
2018. 05. 01 No.273		株式会社秋山製作所 企画・デザイン室

母の日

1905年5月9日、アメリカウエストヴァージニア州で生まれたアンナ・ジャービスが、亡き母の追悼のために母が日曜学校の教師をしていた教会で、母親が好きであった白いカーネーションの花を配ったことがアメリカでの母の日の起源とされています。ジャービスの母親への想いに感動した人々から、この風習が全土に広がり、1914年に「母の日」はアメリカの祝日となり5月の第2日曜日と定められました。元々カーネーションは聖母マリアが落とした涙から咲いた花だと言われていました。白いカーネーションは十字架に架けられる前のキリストとマリアを表し、赤いカーネーションはキリストから散った血の色と言われていました。まだ母の日が制定されて間もない頃、母親が健在の子供は赤いカーネーションを、母親が亡くなっている子供は白いカーネーションを胸に飾っていたそうです。日本に母の日の習慣が伝わった当初は母親が健在かそうでないかで、カーネーションの色を区別して贈っていたようですが、母親がいるかないかで区別することに配慮すべきとの声が上がリ、赤い色のカーネーションを贈るといった習慣が変わっていきました。ふだん恥ずかしくてなかなか「ありがとう」が言えない感謝の気持ちを言葉で伝えるチャンスです。当社にもカーネーションのデザインがありますので、ご活用ください。(T.I)



世界禁煙 DAY

「世界禁煙デー」は毎年5月31日、禁煙キャンペーンの一環として開催されています。たばこが、健康被害をもたらすことを社会に訴え、たばこの消費量を減らすための効果的な取り組みを推奨しています。

「世界禁煙デー」は、1988年4月7日に初めて開催され、翌年以降毎年5月31日に実施されています。日本では、厚生労働省が1992年、毎年5月31日の「世界禁煙デー」から1週間を「禁煙週間」と制定しました。

WHOがまとめた報告書によるとたばこが原因で、世界で毎年700万人が亡くなっており、そのうち89万人が、自分は喫煙しないものの、他人のたばこの煙による受動喫煙が原因で死亡しているそうです。また、たばこが原因による医療費の負担や生産性の低下で、経済損失は年1兆4000億ドル(155兆円余り相当)以上に上ると試算しているそうです。

健康被害の多いたばこ・喫煙者のみなさん、「世界禁煙デー」を気に禁煙を考えてみてはいかがでしょうか。(M.S)

疲労回復ジム

「疲労回復ジム」についてご存知でしょうか。その名の通り、「疲労回復ジム」とは、疲労回復のためのプログラムを提供しているスポーツやフィットネスクラブの事です。「疲労回復ジム」のプログラムには、ヨガやストレッチに加えて、体感トレーニングや有酸素運動が総合的に組み合わせられているのが一般的です。

「疲労回復ジム」で行われるフィットネスでは、後半に力を抜いてリラックスする時間が設けられていることが多いのが特徴です。前半に軽い運動をして、身体を適度に疲れさせてから、後半にサウナや瞑想などで心と体をリラックスさせます。これによりただリラックスするよりも、より効果的に心身を落ち着け疲労を回復することが出来るそうです。

自分に合った「疲労回復ジム」を見つけ、新しい疲労回復方法を体験してみるのもいいですね。(M.S)